

我孫子市消費者の会

# お知らせ

2011年5月13日 第37期 No. 2-419号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.com/>

## 脱原発へ国民の英知を

大震災と津波の被害は、あまりの大きさになかなか復興の目途がたたない状況で、日々心を痛めています。一方、福島原子力発電所の事故は、まさに人災と言わざるを得ません。一旦事故が起これば、制御しにくい原子力というものを、「安全である」と国民は言いくるめられてきたのです。電源立地3法によってあらゆる方面にお金がばらまかれていたことも白日の下にさらされました。本当に安全ならば、お金で人心をゆがめさせる必要は無かったです。そのお金は、私たちが支払っていた電気料金と、税金です。国が推進方針を決めたために莫大な額が支出されていました。

政府は、浜岡原発は東海大地震を想定して止めることを決めました。これは評価すべきことでしょう。そして、国のエネルギー計画を根本的に見直すと、やっと、政府は言いました。

今回の事故での放射性物質の排出はどう止められるのか、今日12日現在ではわかりません。止めようとする作業をしている人は、お金で集められた人。劣悪な環境の中で多くの放射能を浴びています。このような中でも、原発は必要だと推進派は動き出しています。

これは命の問題です。推進派の人達は国民の命をどう考えているのでしょうか。私たち消費者の会は、大きなテーマが「我孫子の暮らしを考えよう～次の世代のために」です。消費者問題の根底にあるのは「命」の問題だと思ってきました。

5月2日の定例会で、「我孫子市消費者の会は脱原発のために働くこと」を確認しました。今年度はそのための学習や働きかけを行います。

個人的な問題ではありません。子孫にどうい

う社会を残すのかを一番大切にしたいと思えます。ご理解とご協力をお願いします。今、消費者団体が積極的に主張しなければ、悔いを残すことになりそうです。

## 節電の知恵比べを

まずは節電です。それでは経済が回らないと必ず反論が出るでしょう。では、「使え、使え」と言って、使用料を増やし続けた責任は誰が取ってくれるのでしょうか。「使え」と言い続けて、「30%は原発だ。だから止められない」との論には納得できません。

先日ある新聞の投書欄に「私は節電を旨として生活し、最低の電気しか使っていないと自負している。そういう人にも一律に、都会人が電気を要求したと言われたくない」という主旨が載りました。一方で、「火力発電でまかなえそうだ」というニュースもあります。地球温暖化防止は、どこへいったのでしょうか。

小手先の対策ではなく、エネルギー政策を見直し、可能なエネルギーで社会全体を作り直すのかを、一人ひとりが考える時です。

さあ、まずは今年の夏を切り抜ける節電の仕方をみんなで考えましょう。和田までご提案ください。順次お知らせに載せていき、みんなで実行しましょう。

## 総会のお知らせ

5月30日(月) 13:00～15:15

我孫子南近隣センター・ホール

このお知らせと共に、総会資料を配付します。前年度活動報告や決算報告、今年度の活動計画と予算について審議していただきます。時間をお間違いなく。

先月号にも書きましたが、記念講演会として

14:00から、会員になられた川上千里さんによる「スライドショー《昭和の子ども》写真を通して時代を知り、命を考える」を行います。これは広報5月16日号の伝言板に載せて一般公開します。どうぞ多数ご出席ください。

やむを得ずご欠席の方は、先月号につけた委任状をご提出ください。

## 6月の定例会を繰り上げ

定例会は基本的に第1月曜日に行ってきました。今年は諸々の事情で、上記のように総会が5月末になりましたので、お忙しい皆さんに改めて1週間後にお集まりいただくのも・・・と、総会記念講演の終了後、15時30分から6月分の定例会を行います。お疲れでしょうがご協力ください。

## 7月定例会の予告

7月4日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター8F調理室

できれば、クリーンセンターから、我孫子の廃棄物行政についてお話いただきたいと思っています。(来月のお知らせで)

## 再度北茨木市に義援金を

先月号で、我孫子のごみの最終処分を引き受けていただいている北茨城市に義援金を送りました、と報告しました。引き続き届けてくださった方がありましたので、集まった8万円を送ります。北茨城は今回で終了します。我孫子の被害に対しても義援金を募集していますので、お志があれば個人としてお願いします。

## 千葉県消費者フォーラムのお誘い

6月13日(月) 12:30~15:30

千葉市民センター・ホール

「暮らし一番の千葉〜高齢社会の安全・安心をめざして」

事例発表3団体のうち、我孫子市消費者の会副会長栗原洋子さんが、「地域での見守りをどうつくる」として、報告をする予定です。

基調講演は流通経済大学教授・大橋純一氏。

裏面にチラシを印刷します。申込みは消費者の会でまとめてします。参加希望は5月19日までに和田へ。千葉までの交通費は会で負担します。

## 市民活動フェア予告

6月18日(土) 19日(日) アビスタ

10時~17時

正副分科会長やサポーターで、各分科会からでた企画案を検討、プログラムを作成中です。先月も書きましたが、我孫子市消費者の会が参加している「まちづくり分科会」として、悪質商法にかからないための寸劇をします。分科会メンバーも出演しますが、消費者の会の協力も必要です。よろしく。また、展示コーナーでは生活展のパネルを出します。

## 共同購入からのお知らせ

総会資料の共同購入一覧表にあるように、今年から洗濯用液体せっけんを取り扱うことになりました。ドラム式の洗濯機に良いようです。ご利用ください。また、今まで扱っていたびわこふきは扱いを止めました。アクリルたわしの普及で、びわこふきを使う方が少なくなりました。

## 残念ながら今年はモズクはなし

石垣島のモズクは毎年好評でしたが、今年は気象条件のせいか、天然物のあのモズクが全然収穫されなかったようです。自然相手とはこういうものかと、いつもお世話くださる方が嘆いていらっしゃいました。来年を期待しましょう。

～ ～ ～ ～ ～

毎日のニュースにどうしても神経質になりますね。足柄市内で作られた茶葉から、放射性セシウムが基準を超えて検出されたと報道がありました。消費者の会の共同購入のお茶は静岡県の藤枝のもので、静岡市より西です。

私たちはすでにかかなりの量の放射性物質を浴びているのでしょね。未来を担う子ども達のことを思うと・・・。

12日も予定していた封じ込め作戦はできなかつたようです。一日も早い終息を祈るばかりです。



